

茨城県

- 工業製品と農畜産関連品の卸売年間商品販売額が
大きい茨城県 -

茨城県の年間商品販売額をみると、卸売業、小売業のいずれも水戸市、つくば市、土浦市の順となり、この3市で卸売業の53.3%、小売業の26.6%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区、住宅地区、その他地区の割合はそれぞれ約30%と、この3地区に分散しています。また、商業集積地区の内訳では駅周辺型が32.9%と高い割合になっています。

卸売販売品目をみると、「電気機械器具」が上位に入っているほか、「一般機械器具」や「鉄鋼一次製品」などの工業製品や、「野菜」、「食肉」などの農畜産関連も上位にみられます。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

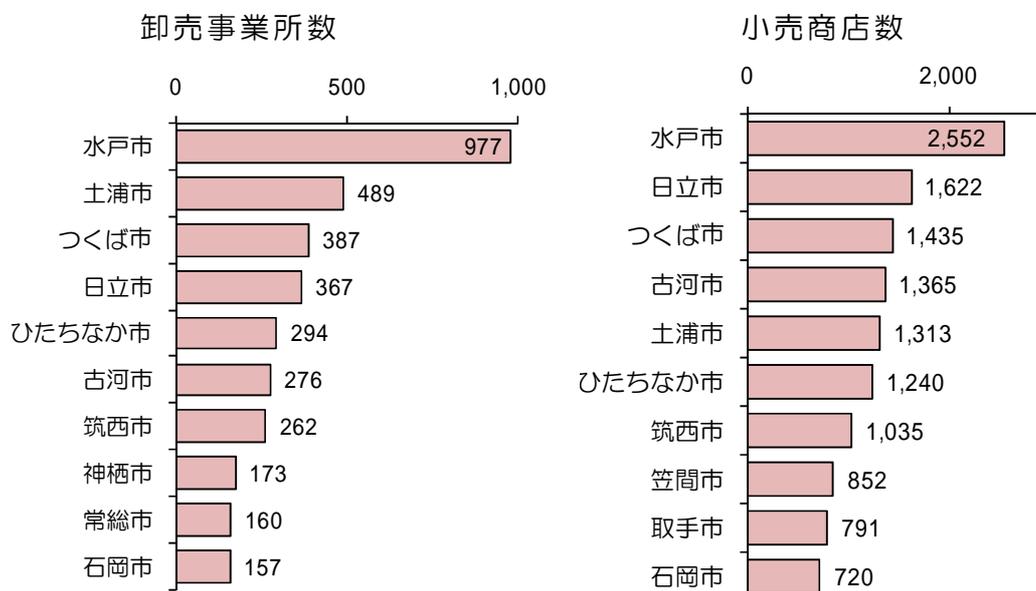
	事業所数		就業者数		年間商品販売額			
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位		
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-		
茨城県計	31,248	14	227,410	14	6,869,837	15		
卸売業計	5,834	16	50,130	15	3,911,079	16		
業種別	各種商品卸売業	25	17	254	15	11,867	19	
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	28	27	145	26	4,348	27	
	衣服・身の回り品卸売業	119	26	897	23	69,315	17	
	農畜産物・水産物卸売業	914	12	8,648	14	621,497	14	
	食料・飲料卸売業	676	16	6,250	17	397,181	22	
	建築材料卸売業	936	12	5,871	14	313,315	17	
	化学製品卸売業	196	17	1,794	16	131,255	16	
	鉱物・金属材料卸売業	273	15	3,118	14	389,236	17	
	再生資源卸売業	246	11	1,729	11	69,350	12	
	一般機械器具卸売業	408	20	2,962	21	198,694	20	
	自動車卸売業	360	16	4,214	14	318,417	13	
	電気機械器具卸売業	313	16	3,207	15	660,065	11	
	その他の機械器具卸売業	219	14	1,922	15	141,608	13	
	家具・建具・じゅう器等卸売業	189	23	1,313	22	62,908	18	
	医薬品・化粧品等卸売業	252	19	2,721	19	239,227	16	
	他に分類されない卸売業	680	16	5,085	17	282,797	18	
	小売業計	25,414	14	177,280	13	2,958,758	13	
	業種別	各種商品小売業	94	17	10,770	15	180,129	18
		織物・衣服・身の回り品小売業	3,181	15	14,258	14	190,162	14
		飲食料品小売業	8,999	13	73,680	12	940,737	11
自動車・自転車小売業		2,100	13	11,930	15	327,292	15	
家具・じゅう器・機械器具小売業		2,154	14	10,579	13	231,540	13	
その他の小売業		8,886	13	56,063	12	1,088,899	11	
医薬品・化粧品小売業		1,724	13	10,663	12	182,614	12	
農耕用品小売業		522	3	2,206	6	59,522	2	
燃料小売業		1,940	7	11,581	11	428,509	11	
書籍・文房具小売業		761	20	10,990	16	71,429	16	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業		698	12	4,209	12	66,298	11	
写真機・写真材料小売業		58	19	206	20	2,253	19	
時計・眼鏡・光学機械小売業		445	14	1,454	13	16,342	14	
他に分類されない小売業		2,738	15	14,754	12	261,932	11	

2. 市町村別の状況

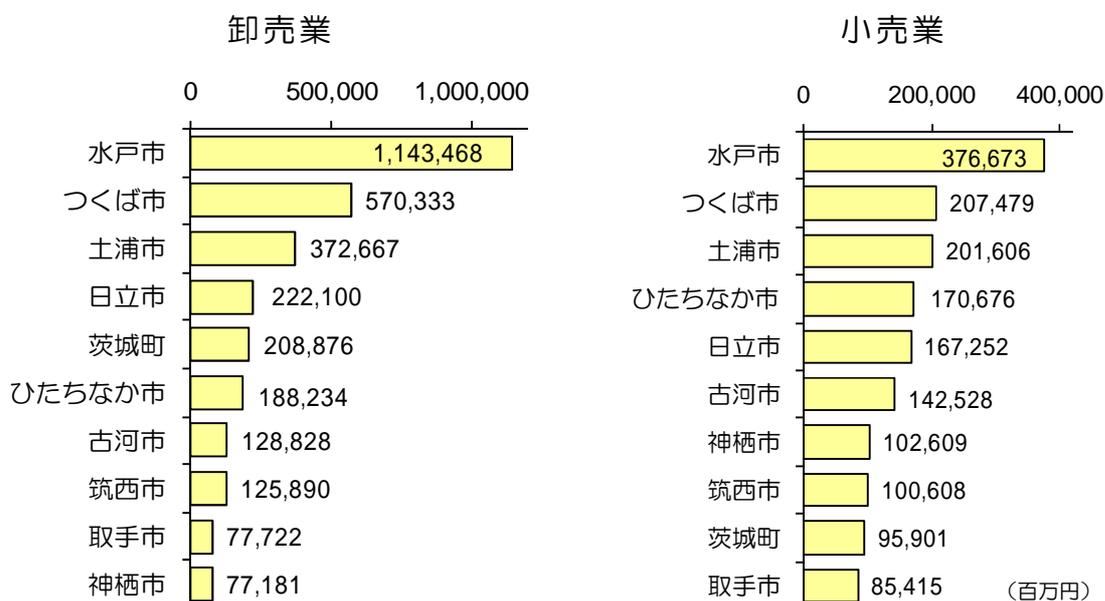
茨城県の事業所数をみると、卸売事業所では水戸市が16.7%を占め、次いで、土浦市、つくば市の順となっています。小売商店は水戸市が10.0%を占め、次いで、日立市、つくば市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では水戸市が29.2%、次いで、つくば市、土浦市の順となっており、この3市で茨城県の53.3%を占めています。小売業では水戸市が12.7%、次いで、つくば市、土浦市の順となっており、この3市で26.6%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

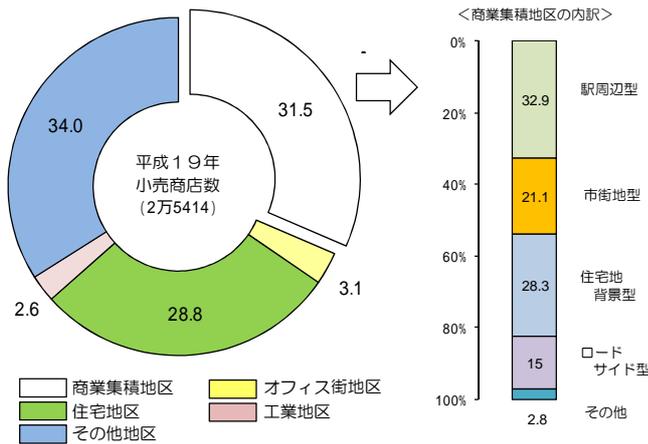


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区、商業集積地区、住宅地区の割合がそれぞれ30%前後となっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型の割合が32.9%と高い割合となっています。また、ロードサイド型の割合が伸びています。



	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	25,414	12.7
商業集積地区	7,999	17.6
駅周辺型	2,629	22.8
市街地型	1,685	15.7
住宅地背景型	2,267	23.5
ロードサイド型	1,198	15.3
その他	220	24.9
オフィス街地区	783	43.4
住宅地区	7,321	11.2
工業地区	669	5.6
その他地区	8,642	12.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「家庭用電気機械器具」、「他の一般機械器具」、「鉄鋼一次製品」などの工業製品が入っているほか、「野菜」、「食肉」が入り、工業、農畜産関連が上位にみられます。

【販売上位10品目】(平成19年)

